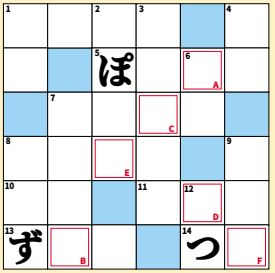
●ポトムの楽校（がっこう）〈第８回〉

クロスワードパズル

正解者には抽選で図書券をプレゼント！



【タテのカギ】

1　グリーン○○変動で谷川岳は生まれた（7ページを見て！）
2　カヌーポロはカヌーで水球をする○○○○（3ページを見て！）
3　自然にダメージをあたえない「ロー○○○○○」（5ページを見て！）
4　ダムの中を走る「○○クライン」（2ページを見て！）
6　クルマでオートキャンプ場へ。クルマを英語でいうと…
7　川の虫をさがして「○○○○マップ」をつくろう（4ページを見て！）
8　○○○に答えてプレゼントをもらおう
9　川の○○○へ、キャンプに行こう（5ページを見て！）
12　川の近くや海岸などにある○○林

【ヨコのカギ】

1　川や湖の水のこと。漢字で「淡水」
5　ミカンのなかま。香りがよくて甘い
7　幅のひろ～い「○○○○堤防」（6ページを見て！）
8　増水したら、すばやくひなん！「すばやく」を英語で（＝quick）
10　上流のかわからに大きな○○がゴロゴロ
11　まっかな夏野菜
13　川へ行くにはサンダルではなく、こんなくつがよい
14　赤谷湖ではボートや○○ができる（3ページを見て！）

［答え］二重わくの中の字をABC順にならべてね。それが答えだ。

答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え（　　）を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書券（千円分）をプレゼントします！

また、この「川の子ども新聞」を読んだ感想（いちばんおもしろかった記事・おもしろくなかった記事）・意見・質問・取り上げてほしい記事なども送ってね。

感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

○あてさき
〒371-8666　前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社広告局企画部
「川の子ども新聞」係
○ファクス／027-254-9904
○メール
http://www.raijin.com/kawaiにアクセスして、応募フォームから送信してね。（携帯電話からもアクセスできます）
○しめきり／2004年8月10日（火）

■前回（春号）のこたえ

「ゆきどけみず」

あ		いし			ちず	
ひる	みっ		ぐん			
る	きり	ん		け		
	つゆ		ま	け	ん	
とど	う	ふ	け	ん		
とう		ち	ん	か		

たくさんのご応募ありがとうございました。

ポトムのQ&A

どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん！

Q　渡良瀬（わたらせ）ゆうすいちの「ち」という字は「地」か「池」かどっちですか？　新聞には両方ありますよね。
（前橋市公田町・中２・女）

A　そう、よく見つけたね。たしかに前号には、渡良瀬遊水「地」と渡良瀬遊水「池」出張所（しゅっちょうじょ）と書いてあった。「地」と「池」と、どちらが正しいんだろう？答えは…この場合は、どちらも正しいんだ。

辞書には「遊水池」ということばがある。これは、洪水のときに、そこにいったん水をためるためのものだ。

国土交通省でも、昭和62年ごろまでは「渡良瀬遊水池」という名前を使っていた。ところが、その後、渡良瀬遊水池が洪水をためるだけでなく、公園やグラウンドなど、さまざまな目的に使われることから、「渡良瀬遊水地」としたほうがいいということになった。いまでは「渡良瀬遊水地」という名前で統（とう）一することにしている。なお、渡良瀬遊水池出張所は昭和38年にできて、その名前が正式に決まっていたため、いまでもこの「池」という字を使っているんだ。

Q　川の水が、あるところでは青く見えたり、またちがうところではみどり色に見えたりするのは、なぜですか？
（沼田市高橋場（たかはしば）町・中２・男　ほか）

A　これには、いくつか理由がある。たとえば、川の水の中には、いろんな物質（鉱物（こうぶつ）など）がとけこんでいる。その物質によって、川の水の中に入ってきた太陽の光が反射（はんしゃ）されるんだ。太陽の光には、ふだんは見えないけれど、赤・みどり・青などの色がある（空の「にじ」になって見えることがあるね！）。それで、川の水の中の物質が少ないと「青」を反射して、水の色は青く見え、物質が多いと「みどり」も反射して、水の色はみどり色に見えるというわけなんだ。それから、川の水が「かがみ」のようになって、青空や岸べの木のみどりなどまわりの色をうつすということもある ね。

ほかにも、川にすむプランクトン、とくに「も」のなかまがたくさん発生すると、こいみどり色になったりすることがある。みんなも、家の近くの川はどんな色か、かんさつしてみて！

お知らせ

●利根川ダム資料館からのお知らせ

「石ころアート」と「木のストラップ」の体験コーナーができたよ

お部屋のインテリアに、また携帯電話のストラップに、自然のやさしさがあふれる世界でたった一つのものができるよ。どんどん体験してね。

●利根川ダム統合管理事務所からのお知らせ

メールマガジン「利根川の流れ」配信中

利根川ダム統合管理事務所では、メールマガジン「利根川の流れ」を配信しています。利根川上流域やダムの情報、イベント情報などをお知らせしています。ひ登録して読んでください。もちろん購読は無料です。

登録方法
ホームページ（http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/）から登録していただくか、以下の方法でお願いします。
○Eメールの場合
tonegawadam@ktr.mlit.go.jpに「メールマガジン読者登録希望（携帯電話、PHSの場合はさらに（携帯）と記入）」と記入して送信してください。
○FAXの場合は027-255-3917に「メールマガジン読者登録希望」と「送付先のファクス番号」を記入して送信してください。

表紙写真のこぼれ話

カップまつり
猿ケ京カップ広場（新治村）

7月25日に「森と湖に親しむ旬間」の一環として行われます。スイカ割りや魚つかみ大会など、楽しいイベントがもりだくさんです。

表紙写真のこぼれ話

〈次号の発行予定〉

「川の子ども新聞」第９号は、10月上旬に発行する予定です。

「川の子ども新聞」編集委員会

群馬県小学校中学校教育研究会小学校理科部会
前橋小学校教諭　**塩澤春浩**（しおざわはるひろ）
群馬県小学校中学校教育研究会小学校社会科部会
前橋市立二之宮小学校教諭　**薊　隆志**（あざみたかし）
NPOくんま代表　**熊倉浩靖**（くまくらひろやす）
民俗学研究者　**板橋春夫**（いたばしはるお）
国土交通省利根川ダム統合管理事務所長　**石島　威**（いしじまたけし）

第９号の子ども記者を募集します！

きみも記者になってみよう！

「ぼくも（わたしも）記者をやってみたい！」。そんな小・中学生は、上のクロスワードパズルの応募といっしょに「子ども記者参加希望」と書いて送ってね。希望者が多いときは抽選します。「どんな取材をするの？」については、あとで本人に連絡するね。

●より見やすく、読みやすく―今号から新聞のデザインを変えました。